



『海老川水門と秋の空』／撮影者：及川 雄次 様／撮影日：令和4年11月25日／海老川水門東側

食料支援活動応援事業の実施や、経済的に困窮している 児童生徒のいる世帯への給付金を支給するための補正予算案を審議・可決 令和6年度一般会計決算を含む10会計の決算認定議案を審議・認定

令和7年第3回定例会は、令和7年8月28日から10月3日までの37日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から19議案、議員から4議案が提出され、19議案が可決されました。

また、令和6年度一般会計を含む7会計の決算認定議案が提出され、第2回定例会で提出され継続審査となっていた決算認定議案3件を含めた10件を認定しました。

今定例会の主な流れ

8/28	開会 議案・発議案提案説明	P.2、3
9/4～9/12	議案質疑 一般質問	P.4、5 P.10～15
9/17～9/30	各委員会の審査	P.6、7
10/3	採決（議案等の議決） 閉会	P.8
その他	閉会中の委員会報告、会派の構成 議会見学会を開催しました、お知らせ	P.9 P.16

議案の概要

今定例会に提出された議案のうち、主な議案をご紹介します。
全ての議案名と議決結果は8ページに掲載しています。
各議案の概要は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

市長提出



議員提出



食料支援活動応援事業や里親養育包括支援事業など

【第1号】令和7年度一般会計補正予算

補正額

△6億3904万9千円

内訳

民生費	1908万8千円
商工費	1億5000万円
土木費	2000万円
消防費	△3182万円
教育費	△7億9631万7千円

【主な事業内容】

食料支援活動応援事業（予算額…235万円）

食料品の高騰による影響を受けているフードバンクや子ども食堂など生活困窮者を対象に食料支援活動を行う団体に対し、食料支援活動の安定化を図ることを目的とした助成金を交付します。

●要件

市内において、令和7年4月以降継続して月1回以上の食料支援活動を行い、今後も6か月以上継続して月1回以上の食料支援活動を行うこと等

●助成額

食料支援活動の実施回数が月1回の場合	5万円
食料支援活動の実施回数が月2回以上の場合	10万円

※食料支援活動を行う団体に食品を無償で提供する活動を行う場合は、右記に10万円を上乗せします。

●交付団体数

40団体（見込み）

里親養育包括支援（フォスタリング）事業

里親等への委託を推進するため、里親制度の普及促進、こどもと里親のマッチング、里親委託中における里親への支援等を総合的に行う里親養育包括支援事業を委託します。

●委託期間

令和8年7月1日～令和11年6月30日

●主な委託内容

- ・里親制度等普及促進・リクルート業務
- ・里親研修、トレーニング等業務
- ・里親等委託児童自立支援業務
- ・里親委託推進等業務
- ・里親訪問等支援業務

意見表明等支援事業

一時保護児童に対して生活における悩みや不満に関する意見等を形成し、表明することを支援することで、こどもの最善の利益の追求と実現を図るため、意見表明等支援事業を委託します。

●委託期間

令和8年7月1日～令和11年6月30日

●主な委託内容

- ・一時保護所に入所しているこどもへの意見聴取等
- ・こどもから要請があった際の臨時意見聴取
- ・こどもの意見集約、意見表明先へ伝達等

経済的に困窮している児童生徒のいる世帯への給付金（予算額…3757万円）

物価高騰により教育費の負担が増している就学援助認定者に対し、臨時特別給付金を支給します。

●支給対象者

令和7年10月31日に船橋市就学援助の認定を受けている保護者

●支給内容

認定対象児童・生徒1人あたり1万円

●支給時期

令和7年12月末振込（予定）

地区計画条例に新たに2地区の追加

【第6号】地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

船橋都市計画において新たな地区計画の決定がされたことに伴い、地区計画の内容に合わせて条例を改正し、建築基準法により確実に地区計画の実現を図るものです。

●内容

「新船橋駅西地区地区整備計画区域」及び「新船橋駅商業地区地区整備計画区域」の追加、建築物の用途、建築率の最高限度、敷地面積の最低限度、壁面の位置、高さ等の最高限度に関する制限及び一部用途の緩和を追加します。

●施行日

令和7年11月1日

児童相談所(一時保護所)国産木材什器物品供給契約を締結

【第7号】児童相談所(一時保護所)国産木材什器物品供給契約の締結について

令和8年7月の市児童相談所の開設に伴い、来所者や一時保護児童が木のぬくもりを感じられるよう、国産木材を使用したテーブルやイス等を1階の親子交流スペースや各面接室のほか、2階の一時保護所内のリビングや食堂、居室等に配置します。

●契約の方法

一般競争入札

●契約金額

4388万6700円

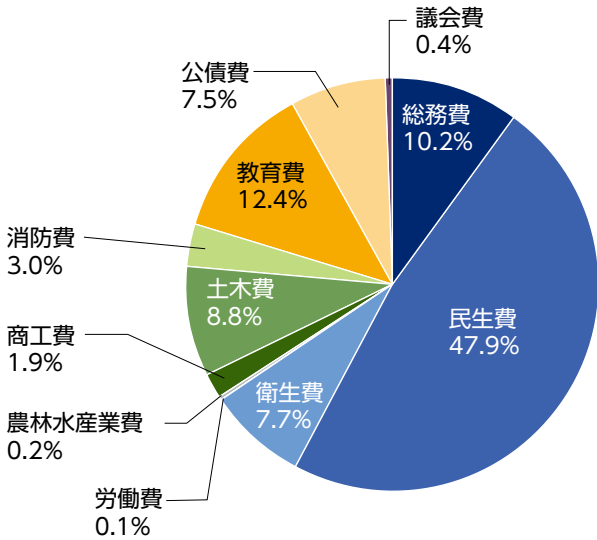
●契約の相手方

合資会社イイダ家具製作所



歳出決算額の割合

※小数点第2位を四捨五入して掲載しています。



決算の認定とは
議会が、一般会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査したうえで、収入・支出が、適法かつ正当に行われたかどうかを確認することです。

令和6年度一般会計 決算額

歳入	2493億1444万5千円
歳出	2432億2942万6千円
差引	60億8501万8千円

歳出決算額 内訳

議会費	9億5208万5千円
総務費	248億185万9千円
民生費	1164億9859万1千円
衛生費	187億1880万7千円
労働費	1億8214万1千円
農林水産業費	5億2908万4千円
商工費	46億7230万9千円
土木費	213億3576万6千円
消防費	72億1588万3千円
教育費	300億9510万6千円
公債費	182億2779万5千円

【認定第1号】決算の認定について(一般会計)

令和6年度一般会計決算

※百の位を四捨五入して掲載しています。

議案質疑

今定例会に提出された議案について、質疑したものです。
議案質疑は9月4日に、発議案質疑は9月5日に行われました。

結

米原
まさこ浅野
賢也

第1号

質問 成人式会場をららアリーナに変更し対象者全員を収容できるメリットは。

答 生涯学習部長 時間の調整がしやすくなり開催方法の選択肢も広がるなど、対象者に多くのメリットがある。

質問 行田中学校のエレベーター設置の補正予算が計上されているが、小中学校への今後のエレベーター設置の方針は。

答 管理部長 校舎の建て替えや大規模な増築などに合わせて計画的に設置するともに、既存校舎へ設置していく。

第14号・第15号

質問 中央公民館等の改修は機械設備工事の入札不調で建築一式工事と電気設備工事を先にを行うが予定通り終わるのか。

答 企画財政部長 現状では当初の予定通り工事を進められると判断している。

認定第1号

質問 船橋駅南口市街地再開発について昨年度の実績を伺う。また市が施行主体として積極的に主導していくべきでは。

答 都市整備部長 昨年度は船橋駅南口C街区における再開発事業実施に向け、勉強会等を開催した。また事業実施は権

利者が主体的に事業に関わり合意形成することが重要。権利者から要望があり、現在まちづくりの方向性を検討している。

清風会

杉川
浩

第1号

質問 船橋アリーナは令和9年も改修予定がないが、なぜ使用料が高額であるららアリーナで成人式を開催するのか。

答 生涯学習部長 船橋アリーナでは会場規模の不足から2部制で行っているが、ららアリーナでは参加者全員が揃う1部制が可能で、駅から近く利便性が高い。注目度の高い市内施設で開催することで、若者たちの市への愛着の向上を期待する。

質問 令和10年以降も継続してららアリーナで成人式を開催するのか。

答 生涯学習部長 状況に応じ検討する。認定第1号

質問 日の出水路の護岸整備を進めていくため、庁内でのような検討体制を構築し、協議や調整を行ってきたか。

答 下水道部長 護岸管理者である関係部署ら者による護岸工事箇所決定会議を開催し、整備方針を検討してきた。

質問 令和6年度に日の出水路の護岸

整備施工計画の検討を行っているが、検討内容と今後の工事の進め方は。

答 下水道部長 現場条件や経済性を踏まえ、護岸及び仮橋の詳細検討等を行った。まず既設護岸が崩落している箇所の工事を今年度から予定し、事業完了まで約20年を要する見込みである。

日本共産党

金沢
和子かなみつ
理恵

第1号

質問 大型の建設事業の一般競争入札で入札不調が続いている。今後どう改善していくのか。

答 企画財政部長 適正な工期設定や実勢価格を適切に反映した予定価格の設定、多くの事業者に参加してもらえる入札参加要件の設定等に課題があると考えられている。円滑な契約事務の執行のため、現在検討を進めている。

質問 成人式の開催会場が民間のららアリーナに変更になることで、これまでの船橋アリーナでの開催よりも会場料が大幅に上がる。市として値引き交渉をしていたいただきたいと考えるが市長の考えは。

答 市長 私からも当然お話はさせていたいただきたいと考えている。

認定第1号

質問 高齢者福祉タクシー乗車券は要介護3から5の方は年度の乗車券枚数の上限がない一方、要支援2および要介護1・2の方は年度で12枚までと上限がある。枚数の制限をなくすべきではないか。

答 高齢者福祉部長 枚数の上限を含め、様々な意見を伺っている。他市の状況も踏まえ、そもそもの移動支援とは何かを研究していきたいと考える。

飛翔

今仲
きいこ

第3号

質問 医療センター建て替えに向け、新病院の機能・規模を再検証し計画を検討するための委託費だが、機能・規模の整理を委託する条件は。また、概算工事費の予算規模と今後の検討スケジュールについても併せて伺う。

答 副病院局長 まず建て替え実施に向けた組織を立ち上げ、そこでの検証・検討結果を委託条件として受注者に指示する。概算工事費の予算規模は、建物規模・構成の検討で算出した工事費を踏まえるため現時点で設定していない。今後のスケジュールは、今年度中に建物規模・構

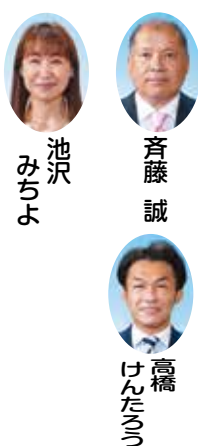
成の検討までを整理し、令和8年度上半期を目的に事業収支計画を進めていく。

第13号

質問 国家公務員宿舍二和住宅跡地建物解体工事請負契約だが、周辺は常に人通りがある。特に朝は車や人、自転車が行き交い特段の注意が必要だが対策は。

答 建築部長 工期は令和7年11月上旬から令和8年12月末までを予定し、工事時間帯は8時～17時、大型車両の搬出入は朝の通学時間を避ける。工事用車両等の出入口を敷地北側の1カ所に限定し、出入口前に交通誘導員を配置、歩行者や車両を安全に誘導できるよう配慮する。

市民民主連合



池沢 みちよ

斉藤 誠

高橋 けんたろう

第1号

質問 生活困窮世帯以外の学校に行けない高校生等もキャリア支援事業の対象に含めるべきと考えるが、見解を伺う。

答 こども家庭部長 生活困窮世帯以外の対象拡大は考えていない。

質問 対象者への高卒認定試験へのサポートはどのようになっているのか。

答 こども家庭部長 対応している。

第13号

質問 国家公務員宿舍二和住宅跡地建物解体工事は、安全対策等の履行をどう確認・監督するのか。また、工事期間中の問合せや苦情等の相談先はどこか。

答 建築部長 市職員が定期的に安全対策等の履行状況を確認し、事業者もしくは市担当部署に問合せできる態勢とする。

第14号

質問 市民文化ホールの大規模改修は工期短縮できないか。出演者目線に立つたバリアフリー化や視界を妨げる2階客席1列目の手すりを撤去できないか。

答 生涯学習部長 工期短縮は難しい。バリアフリー化は検討したが難しく、手すりの撤去は安全面等を考慮し検討する。

無所属



朝倉 幹晴

第3号

質問 医療センター建て替えの再検証は、水害が危惧される地区への移転を前提としている。建築費を節減し、既存新築館（E館・C新館）を活かす現地建て替え案を含めた複数案を市民に公開し議論した上で、再検証すべきではないか。

答 副病院局長 現計画地は現地建て替えも含めた複数候補地を検討し決定した。今後移転を前提に実施の検討をしたい。

無所属



はまの 太郎

第1号

質問 食料支援活動応援事業の狙いは。

答 福祉サービス部長 生活困窮者支援だけでなく、地域の方々の居場所づくりにつながる官民連携の強化と考える。

認定第1号

質問 個別避難計画の作成状況は。

答 福祉サービス部長 目標件数に届いていないため、庁内部会を設置し効果的な作成方法について協議を進めている。

無所属



三宅 けいこ

第14号・第15号

質問 市民文化ホール改修の2年間施設が使えないため、市の演劇文化を担ってきたNPO団体が存続の危機に陥っている。工期の分割や短縮はできないか。

答 生涯学習部長 一度に改修を行う方が経費削減につながるため難しい。

質問 改修中は他市の施設を使わせるを得ない。利用料の補助は考えないのか。

答 生涯学習部長 金銭的支援は難しい。



公明党



木村 修

認定第1号

質問 小型充電式電池の分別収集開始から間もなく1年となるが、処理量は前年度と比べてどう変化したか。また周知の取組について伺う。

答 環境部長 市民の協力で、処理量は約2割増加した。周知の取組は、冊子やアプリ、市HP等への掲載の他、専用チラシの回覧を町会自治会に依頼した。今後、丁寧な周知啓発に努める。

質問 災害現場の映像をリアルタイムで警防本部等に伝送する映像伝送システムについて、ドローンを1機増設して2機体制とした効果を伺う。

答 消防局長 市内を2分割にして対応することが可能となり、災害現場への到着時間を短縮できた。また、大規模災害時に、より迅速かつ効果的な消防活動の確立が可能となった。

第7号

質問 開設予定の児童相談所に国産木材を使用した家具等を配置する事例を全庁的に共有し、他施設でも木材利用の推進を要望するが、今後の取組を伺う。

答 企画財政部長 今回を好事例として、活用事業の実績や「船橋市森林環境譲与税の活用方針」を随時庁内に周知し、今後も目的に沿った取組の推進を図る。

各委員会の審査報告

委員会付託された議案等を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。本ページでは、その一部を紹介します。

予算決算委員会

議案第1号

令和7年度一般会計補正予算

議案の概要は2ページに掲載。



賛成

◆物価高騰の影響が大きな影を与える昨今において必要な予算であり評価する。成人式運営費については、市の施設を使うよりも非常に高額となっているので、引き続き費用を抑える取組を要望する。

◆減額予算となっているが、物価高騰対策が緊急の課題であり、今行すべきは、そのための増額補正である。しかし、減額の多くは入札不調によるもので、やむを得ないと判断した。高校生キャリア支援事業は、どの塾や予備校に通っても活用できる制度とすること、成人式は多額にならない費用での開催を求める。

◆行田中学校をきっかけにエレベーターの設置を多くの小中学校に広げること、成人式が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった世代が20代のうちに追加の行事を行うこと等を要望する。行田の国家公務員宿舎跡地の利用は、消防局を除いた区域が未定なので、地域住民の声も聞きしっかり議論してほしい。

採決結果

全会一致で可決

認定第1号

決算の認定について（一般会計）

議案の概要は3ページに掲載。

認定

◆令和6年度は、物価や資材等の高騰により非常に難しい中での運営であったと思われるが、第3次総合計画基本構想の将来都市像の実現のために各分野での取組が行われた。市長が掲げる10年先の未来に対するビジョンを今一度明確に発信し、行政としてやるべきこと、行政でなくてはできない支援の実施を要望する。

◆学校体育館へのエアコン設置や带状疱疹ワクチン接種費用の助成など、市民に寄り添った事業の実施を高く評価する。一方、公共工事の入札不調が続いているが、公共工事は市民の命や生活を支える重要なものであり、多くの雇用にもつながる。公共工事の入札に対する改革の検討を要望する。

◆東部公民館の大規模改修工事を成功例とし、また、その結果を十分検証し、今後他の公民館や施設の改修の際に反映させることを要望する。

不認定

◆令和6年度決算は、不登校児童・生徒のために校内教育支援センターを全小中学校に設置したことや、選挙の際に期日前投票所までの巡回バス運行を実施した

こと等は評価するものであり、担当者の努力に敬意を表する。しかし、令和6年度決算剰余金積立後の財政調整基金が250億円にも及び一方で、市独自の物価高騰対策はなく、給与も年金も上げらず疲弊する市民生活やなりわいに対し、追い打ちをかけるように市が実施した国民健康保険料・介護保険料の大幅な引上げを認めるわけにはいかない。

採決結果

賛成多数で認定

総務委員会

議案第16号

教育委員会教育長任命の同意を求めることについて（松本淳氏）

◆令和7年10月14日で任期が満了する教育長を引き続き選任するため同意を求めるものです。

賛成

◆これまでの本市の教育行政の運営における実績、また、経験値や見識、そして自然体の答弁も含め、現教育長の人柄全て、今の本市に必要な要素を持たれた、余人をもって替えがたい方である。

反対

◆教育長の人柄、また、2022年就任以来の様々な取組を評価するが、この3

採決結果

賛成多数で同意

健康福祉委員会

議案第7号

児童相談所（一時保護所）国産木材什器物品供給契約の締結について

◆議案の概要は3ページに掲載。

賛成

◆温暖化対策や森林を守るために国産材を積極的に活用すること、また、児童の施設をその対象とすることにも賛成する。ただ、本市の緑化を考えると、枯損木が増えており、街路樹や公共施設の樹木を増やすために樹木の専門家を配置するなど、特別な努力のためにも森林環境譲与税は積極的に、有意義に活用してほしいと考えるので、その努力も求めておく。

採決結果

全会一致で可決

市民環境経済委員会

発議案第3号

消費税の減税を求める意見書

賛成

◆比較第一党である自民党が国民不在の総裁選挙に注力しているため、参議院選挙で示された民意の実現のために開かれるはずの国会はいまだに日程さえ決まっておらず、さらに昨年の衆議院選挙で示された民意でさえ、実現に向けての審議がストップしたままである。

物価高騰により低所得世帯の生活は深刻になっているが、低所得高齢者の声は総裁選挙の候補者には全然届いていない。物価高騰対策としての消費税減税をできるだけ早期に実現するためにも、本意見書を政府に届けたい。

◆消費税減税については、強調点の差はあれど野党8党が一致して求めている。その野党8党は今、国会の中で多数派になっているため、これは国民の声の反映でもある。

本市議会が本意見書を届けて、まもなく再開されるであろう国会に対して、市民の世論を届けていく役割を果たすべきだと思つ。

採決結果 賛成少数で否決

建設委員会

議案第6号

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要は3ページに掲載。

反対

◆条例改正の対象となる船橋市地区計画によって、周辺住民は、渋滞がさらに増すのではないかと、交通安全対策は大丈夫か、大型マンションによって景観が変わるのではないかと等、景観、交通安全、生活、子育て、防災の環境が大きく影響を受けるのではないかなど懸念をしている。2度の説明会では、これらに関しての周辺住民への説明が不十分であり、住民の不安を払拭するには至っていない。本市は改めて地域住民に丁寧な説明会を開くなど、理解を求める必要があると考える。また、現在の道路計画では渋滞解消は見込めず、今後、病院の移転が実現すれば、救急搬送への影響などにも大きな不安が残る。

採決結果 賛成多数で可決

文教委員会

議案第11号

損害賠償の額の決定及び和解について

倒木に伴う事故による損害賠償請求について、損害賠償額を定め和解することについて、議会の議決を得るものです。

賛成

◆大木化・老木化した樹木の剪定や伐採等の業務が年々増加傾向にあることを踏まえて、総点検後も点検手法等を明確化して臨んでいただきたいと要望し、賛成。

◆今回はたまたま車だったが、時間帯によっては子供たちが危ないため、最悪のことを想定してやれることはきちんとやっていただきたいと要望し、賛成。

◆被害者、加害者双方が和解したものに對して否定するものではないが、このような事故が二度と起こらないように点検を強化することを要望し、賛成。

◆本市が昨年から庁内で樹木医による樹木管理講習会を開くようになったのは前進だが、さらにこれを進めて、市の樹木を管理する専門部署をつくり、専門職の配置、台帳管理の徹底、倒木防止の取組などに踏み出すべきだと考える。

採決結果 全会一致で可決

議会運営委員会

陳情第26号

議員が1人でも政党名を表示できる制度の導入に関する陳情

採択

◆本市議会のウェブサイトや市議会だよりには、議員の氏名、所属党派等を掲載しているが、これらの媒体を見たときに一目で政党名が分かるほうが、市民にとっては親切である。陳情者は、政党名を表示できるようにと述べているので、表示する・しないはそれぞれの議員の判断に任せればよい。

不採択

◆我が会派には無所属も政党所属の議員もいる。政党名を表示することで、政党の色が強くなり嫌だと言う議員もあり、混乱の元になることから、現段階では賛同できない。

◆本市議会では会派制を取っており、一人会派は認められていないことから、政党名を表示できるようにすることは現実的ではないが、一般の方には会派無所属と政党無所属の違いが分かりにくいだろうと感じたため、無所属の場合に、会派無所属であることが分かるようにするという点については、議論の余地がある。

採決結果 賛成少数で不採択

議案の議決結果													○－賛成 ×－反対
付託 委員会	議案番号	件名	会 派						無所属				議決 結果
			市民 民主 連合	公 明 党	結 風 会	日 本 共 産 党	飛 翔 会	市 政 会	※ 1	※ 2	※ 3	※ 4	
予算決算	議案第1号	令和7年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	令和7年度船橋市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第3号	令和7年度船橋市病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	認定第1号	決算の認定について（一般会計）	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	認定
	認定第2号	決算の認定について（国民健康保険事業特別会計）	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	認定
	認定第3号	決算の認定について（公共用地先行取得事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第4号	決算の認定について（船橋駅南口市街地再開発事業特別会計）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第5号	決算の認定について（介護保険事業特別会計）	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	認定
	認定第6号	決算の認定について（母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第7号	決算の認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	認定
	認定第1号	決算の認定について（地方卸売市場事業会計）〔継続審査事件〕（注）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号	決算の認定について（病院事業会計）〔継続審査事件〕（注）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第3号	決算の認定について（下水道事業会計）〔継続審査事件〕（注）	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	認定
総務	議案第4号	船橋市吏員恩給条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第16号	教育委員会教育長任命の同意を求めることについて（松本淳氏）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第17号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて（朝倉暁生氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第18号	公平委員会委員選任の同意を求めることについて（近藤裕香氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第19号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて（柳町和巳氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	発議案第1号	パレスチナ国家承認を直ちに行うよう日本政府に求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	否決
	発議案第2号	いわゆる能動的サイバー防御法の廃止を求める意見書	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	否決
健康福祉	議案第7号	児童相談所（一時保護所）国産木材什器物品供給契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	船橋市児童相談所新築工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	船橋市児童相談所新築電気設備工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第10号	船橋市児童相談所新築機械設備工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議案第4号	OTC類似薬の保険適用除外を行わず保険適用の継続を求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	否決
市民環境経済	発議案第3号	消費税の減税を求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	否決
建設	議案第5号	船橋市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	船橋市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第12号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教	議案第11号	損害賠償の額の決定及び和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	船橋市中央公民館・市民文化ホール大規模改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	可決
	議案第15号	船橋市中央公民館・市民文化ホール大規模改修電気設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	可決

（注）「継続審査事件」とは、委員会に付託された案件のうち、当該会期中に審査が終了せず、引き続き審査を行ったものです。

所属会派の○×と異なる議員

・発議案第3号……………市民民主連合の高橋けんたろう議員、斉藤誠議員は退席

陳情の議決結果													○－賛成 ×－反対
付託 委員会	受理番号	件名	会 派						無所属				議決 結果
			市民 民主 連合	公 明 党	結 風 会	日 本 共 産 党	飛 翔 会	市 政 会	※ 1	※ 2	※ 3	※ 4	
議会運営	陳情第26号	議員が1人でも政党名を表示できる制度の導入に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	不採択
総務	陳情第27号	一般会計予算に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情第28号	公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
健康福祉	陳情第29号	船橋市立医療センター建替えにあたり現地建替え案の検討を求める陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
	陳情第30号	新医療センター建設事業の現況に関し市長に市民への説明を求める陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
市民環境経済	陳情第31号	船橋市廃棄物の減量、資源化及び適正処理に関する条例施行規則第4条（2）に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
建設	陳情第32号	国道357号線船橋区間の渋滞緩和のため、東関道で通行料金引下の社会実験を求める陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
	陳情第33号	病院・保育所を市街化調整区域に建設できるよう船橋市開発審査会提案基準を改正することを求める陳情	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
文教	陳情第34号	塚田南小学校または海神小学校に自閉症・情緒障害特別支援学級設置と学区外通学児童への通学支援に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択送付（注）

（注）「採択送付」とは、採択された請願や陳情のうち、執行機関で措置することが適当と認めたものについて、所管する執行機関に送付するものです。

所属会派の○×と異なる議員

・陳情第28号……………結の青木はるか議員、市川たけし議員は退席
・陳情第29号、第30号……………市民民主連合の中谷あやの議員、川井洋基議員は退席

※1～※4の議員名については、9ページの「会派の構成」をご参照ください。

議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。
前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

第3回定例会に関して、会期や審議日程、提出される議案等の審議方法、一般質問の順序等について協議・決定しました。また、各会派からの提案事項、船橋市議会会議規則等の一部改正、船橋市議会傍聴規則の一部改正について、協議しました。

- ・第3回定例会の審議日程等について

市議会だより 264 号の掲載内容、夏休み小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会で施設見学の際に使用する資料について、協議・決定しました。また、広報委員会の検討事項の進め方について協議したほか、市立船橋高等学校への出前講座の実施要領について協議し、実施日を決定しました。

- ・令和7年第2回定例会市議会だより 264号について
- ・夏休み小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会について
- ・広報委員会の検討事項について
- ・その他（次回の広報委員会について）

※詳しい開催内容は16ページをご覧ください。

令和7年第2回定例会において予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査(注)とすることと決定した決算認定議案3件の取り扱いについて決定しました。

(注)「継続審査」とは、委員会に付託された案件について、当該会期中に審査が終了せず、引き続き審査を行うものです。

視覚に障害のある方などのために、市議会だよりの音声版（声の市議会だより）と、点字版を発行しています。お申込みは議会事務局でいつでもお受けしておりますので、ご家族やお知り合いの方などに送付を希望する方がいらっしゃいましたら、ぜひお伝え下さい。また、音声データは市議会ウェブサイトでも掲載しておりますので、右のコードからお聞きください。

なお、音声の収録は、ボランティアグループ「ふなばし声の広報連絡会」のご協力により行っています。



(令和7年10月3日現在)

市市民民主連合		大沢たかのり		中谷あやの	
三橋さぶろう		岡田みちよ		池田とおる	
高橋けんたろう		浦田秀夫		誠	
川井洋基		斎藤誠			
神田廣栄					
公明党					
葛生正文		草場智泉			
上田美穂		鈴木心一			
木村修		松橋浩嗣			
橋本和子		松寄裕次			
鈴木いくお					
結					
米原まさとし		青木はるか			
市川たけし		林としのり			
藤代清七郎		小平奈緒			
いとう紀子		浅野賢也			
清風会					
島田たいぞう		杉川宏浩			
七戸俊治		滝口宏			
鈴木和美					
日本共産党					
かなみつ理恵		神子そよ子			
松崎さち		金沢和子			
岩井友子					
飛翔					
かいさち		今仲きいこ			
佐藤つぐみ		齊藤和夫			
大沢ひろゆき					
市政会					
滝口一馬		日色健人			
渡辺賢次					
無所属					
はまの太郎※1		三宅けいこ※2			
佐々木克敏※3		朝倉幹晴※4			

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、将来の方針等の所信や疑問をただし、あるいは報告や説明を求めるものです。一般質問は、9月8日〜12日に行われました。

企画・財政

情報公開と説明責任

市民民主連合 中谷 あやの

質問 予算・決算の報告について、廃止・縮小・終了・統合した事業も含め明示的に一覧化し報告してはどうか。

答 企画財政部長 廃止や縮小等を行った事業等の周知について研究していく。

消防法に基づく検査・指導

市民民主連合 高橋 けんたろう

質問 過去に法令違反を指摘され、是正済として公表されなかった建物に対し、継続的な検査や指導はどのよう行っているか。また、所有者等へ対し、防火管理についてどう指導しているか伺う。

答 消防局長 過去に是正された建物も計画的な立入検査をしている。建物所有者等に対し、行すべき業務を再確認していただき、避難経路の確保を徹底するよう重点的に指導している。万が一、火災が発生した場合は迅速かつ安全に避難できるよう、適切な指導を行っている。

地域の変化から考える投票所

公明党 鈴木 心一

質問 期日前投票所を新たに高根台公民館に開設したことは歓迎されているが、松が丘や大穴地区の住民は、要介護者などの高齢者が多く、より近くに期日前投

票所を求める声が上がっている。投票機会の確保のため、事前申請による移動投票所などを検討できないか。

答 選挙管理委員会事務局長 当該地域のみならず高齢化が進み、移動が困難な方が増えていると認識している。現在実施している巡回バス以外にも、他自治体の事例を参考に調査研究を進める。



新たに開設された高根台公民館の期日前投票所



きよまさ 若者支援

公明党 葛生 正文

質問 こどもや若者が市政に携わることのできる施策に対する本市の見解は。

答 市長公室長 若い世代にも、まちづ

くり懇談会等の事業周知を図り、広く若者の声が聞けるよう努めていく。

平和都市宣言事業

公明党 松橋 浩嗣

質問 沖縄への平和派遣事業の行程にどのような工夫をしたのか。

答 総務部長 6月23日の沖縄全戦没者追悼式への学生参加が難しいことから、多くの住民を巻き込む地上戦が行われた沖縄戦の実相をより実感を伴って学べるように行程を組んだ。例えば、対馬丸記念館にて語り部の方に講話をいただいたほか、旧海軍司令部壕や糸数アブチラガマといった実際に戦場となった戦争遺跡を見学場所とすることで、戦争の悲惨さを肌で感じられるよう工夫をした。

自治体スマホアプリの活用

結 小平 奈緒

質問 多くの自治体や行政機関がスマホ向けアプリの開発に力を入れている。本市ではどう活用されているのか。また今後導入・活用予定のアプリはあるか。

答 総務部長 令和2年3月から市公式アプリ「ふなっづ」を運用している。市からのお知らせや災害時の緊急情報をプッシュ通知で提供するほかオンライン申請や市HPのリンク、既存アプリとの連携等を行っている。今後は令和8年3月に「ふなっづ」に代わる新たな市公式ア

プリのリリースを予定している。

市職員の人材育成

清風会 島田 たいぞう

質問 外国都市、民間企業に職員を派遣する等専門家の育成が必要ではないか。

答 総務部長 引き続き検討していく。

消防団活性化施策

飛翔 今仲 きいこ

質問 令和2年度の市政モニターアンケートで「消防団に入団したい」と回答したのは男性17%、女性は0.4%という結果を受けて、消防局はどのように認識しているのか。入団促進・継続できる環境整備等行っているのか伺う。

答 消防局長 消防団員のサラリーマン化が進む中で、被雇用者が入団しやすく活動しやすい環境づくりが重要だと考え、行事等の負担軽減策を講じている。特に若年層を対象に、SNSの活用や地元町会での入団促進を引き続き行っていく。

防災

避難所でのプライバシー確保

日本共産党 岩井 友子

質問 避難所での雑魚寝は、女性たちが見知らぬ男性と隣合わせになる。間仕切りが必要と考えるが見解は。

答 市長公室長 不足分は国や協定締結

先の企業等からの調達を想定している。

質問 女性の視点で防災対策を考えるプロジェクトチームが必要ではないか。

答 市長公室長 引き続き対策を進める。



雑魚寝を解消できるのか紙管パーテーション

町会自治会館の避難所活用を
市民民主連合 浦田 秀夫

質問 千葉市では、町会・自治会からの申請に基づき、事前に「地域避難施設」として認定・備蓄品の配備を行っている。また、災害時に「地域の避難先」として最寄りの指定避難所と連携することで、避難者の分散避難を可能としている。本市でも町会・自治会館を避難施設として活用し、指定避難所と補完し合うようにすべきと考えるが、市長の考えは。

答 市長 時間を取りしっかり検証した

上で、より市民の皆様を確実に守る体制がどうなのか結論を出して行きたい。



避難所での防災訓練の様子

津波注意報発令時の対応
市民民主連合 三橋 さぶろう

質問 7月30日のカムチャツカ半島付近を震源とする地震による被害状況や今回の経験からの課題等について伺う。

答 市長公室長 地震に伴う人的物的被害はなかった。今後はより具体性のある円滑な避難行動につながるよう、ホームページ等の内容について改善を図りたい。

質問 市民安全パトロールカー走行時に緊急事態が発生した場合、音声内容を変更する等臨機応変に対応すべきでは。

答 市民生活部長 緊急事態発生時の対応は、今後関係部署と調整していく。

生活・安全

仮放免者への対応
市政会 日色 健人

質問 本市は市内に居住する仮放免者(二時的に収容から解放された外国籍の方の人数等を把握しているか。国に対し情報提供を求めることはできないのか。

答 市長公室長 令和6年末現在、全国の仮放免者数は2449人となっている。市内の人数については、これまで正確な人数の把握ができなかったが、令和7年3月出入国在留管理庁通知により自治体から仮放免者にかかる情報を求めることが可能となるなどの運用の見直しが行われたこともあり、確認していきたい。

質問 仮放免者は就労・移動も制限され、国民健康保険にも加入できないなど、生計の維持に大きな困難がある。こうした方が集まってくると、他の自治体のようにトラブルになることがある一方、支援者の負担も大きい。他市とも情報交換し、国に適切な対応を求めるべきでは。

答 市長公室長 仮放免制度は国の入国管理制度に起因しており、国において適切に対応すべきと考えているが、まずは市内に暮らす仮放免者を把握し、他自治体の取り組み等の調査や情報交換を行うとともに、国に対して適切な対応を求めるかについて検討していきたい。

質問 市内に居住する仮放免者に対し、自治体としてのどのような姿勢で向き合う

か。最低限の生活維持のために、関係機関や支援団体の連携など、現時点でできることを整理しておくべきではないか。

答 市長公室長 仮放免者からの相談があった場合には、船橋市外国人総合相談窓口や支援団体の窓口を案内するなど、具体的な支援に繋いでいきたい。



外国人総合相談窓口

市民協働事業の一覧活用
無所属 佐々木 克敏

質問 一覧をまとめたことについては評価するが、今後このデータをどのように活用していくかが重要だと思う。このデータは事業の改善やスリム化につながるツールと考えるが見解を伺う。

答 市民生活部長 庁内における協働事業の進捗管理を改善することを目的とし

ている。今後は、中堅職員を対象に実施する協働の意識醸成を目的とする研修の中で取組の好事例をフィードバックする等、より良い活用について工夫していく。

特殊詐欺被害対策

市民民主連合 斉藤 誠

質問 金融機関と連携し、ＡＴＭで携帯電話を利用する高齢者へ必ず声かけをして未然に防ぐ取組を徹底してはどうか。

答 市民生活部長 警察や金融機関と連携し、未然に防ぐ取組を実施していく。

マイナンバーカードの更新

公明党 上田 美穂

質問 市役所も出張所も遠く、電子証明書の更新がしづらい小室などの地域で、更新手続きを出張で行ってほしい。

答 市民生活部長 体制構築に課題が多く対応に苦慮している。引き続き、国の動向などを注視し研究する。

子育て・健康・福祉

不適切保育相談窓口の設置

飛翔 今仲 きいこ

質問 市内保育園で虐待事案が発生した。以前から不適切保育についての相談窓口の設置を求めてきたが、検討状況は。

答 こども家庭部長 どのような形で対応することが望ましいか検討している。

データ連携システムの推進

飛翔 佐藤 つぐみ

質問 介護現場の負担軽減のための本

システムに関する周知や研修に力を入れるだけでなく、個別サポートを実施する伴走型支援を導入できないか。

答 高齢者福祉部長 まずは周知を工夫してシステム導入を促進し、機会をとらえて伴走型支援を県に伝えていく。

認知症施策推進計画

質問 認知症等の病気を抱えながら働いている方の声も計画に組み込めないか。

答 高齢者福祉部長 社会参加活動の場で意見等を伺い、計画を作成していく。

医療センター建替計画の今後

飛翔 齊藤 和夫

質問 医療センター建替に向けて、将来入院患者を推計し再検証を行うとのことだが、後期高齢者人口の急増に伴う高齢者の医療ニーズの拡大や医療・介護人材の不足、オンライン予約・問診システムなどの医療DXの導入も加味して検討を進めるべきではないか。同時に、地域医療における役割や機能についても、健康福祉局をまじえて検討を行った上で、新病院の構成・規模を考えるべきでは。

答 林副市長 9月9日（質問の3日前）に「市立医療センター移転建替庁内協議会」を設置した。この協議会で機能・規模の整理から事業収支計画の検討までを行い、市長に移転建替の具体的な実現方法を提案する。医療を取り巻く環境の変化、地域医療体制の観点についても、健康福祉局が委員に入っているので、協議

会として検証・検討を進めていく。



狭隘化による増築で構造が複雑化した現医療センター

休職者の復職支援

無所属 三宅 けいこ

質問 精神的な不調により休職した方の復職支援プログラムであるリワークで、他市の方に比べ船橋市民は不利益を受けていると事業者から伺っている。市で使えるサービスに優先順位をつけ利用を指導している件や、支給決定に時間がかかりすぎている件を改善できないか。

答 福祉サービス部長 サービス利用は国の通知に基づき要件を確認している。支給決定までの時間短縮を図るため、他市の手続きを参考に検討していきたい。

プレーパークへの支援

市民民主連合 大沢 たかのり

質問 プレーパークは子どもの主体性を育む大切な外遊びの場だが、活動を広げるには子どもを見守り遊びを支援するプレーワーカー不足が課題。現状はボランティア中心のため担い手確保が必要。人件費や研修費を含め人材育成の支援を。

答 地域子育て部長 プレーパークは地域で子どもを育む意義ある取組であり、実際の活動においてプレーワーカーが重要な職種だと認識している。他市の事例や市内団体からの要望を踏まえ、人件費や育成費用も含めて検討する。

医療センター建替え

市民民主連合 中谷 あやの

質問 入札不調等を説明会等で周知し、再度パブリック・コメントをしては。

答 副病院局長 効果的な情報発信方法を検討し、事業の進行中に必要であればパブリック・コメントの実施を検討する。

医療用ウィップ補助

公明党 葛生 正文

質問 アピアランスケア事業の対象を汎発型脱毛症患者まで拡充できないか。

答 健康部長 がん患者以外を対象としている自治体もあることから、引き続き制度等について調査研究していく。

産後ケア事業

公明党 草場 智泉

質問 利用促進のため、電子申請を取り入れることはできないか伺う。

答 健康部長 今年度開始した家事・育児支援サービス事業で電子申請を導入し

ているため、本事業についても検討する。

ケアマネジャーの負担軽減
公明党 上田 美穂

質問 介護事業所等へケアプランデー
タ連携システムの導入を推進するべき。

答 高齢者福祉部長 様々な機会です
システムの普及・啓発に取り組んでいく。

医療的ケア児への支援
公明党 橋本 和子

質問 「医療的ケアを必要とするお子様
に関するアンケート」結果で、NICU
から在宅移行時に利用できるサービス等
がわからないという回答が多くあった。

支援制度や事業所の情報が分散している
ため、ワンストップで相談できる窓口の
設置や、子育てナビゲーションに医療的
ケア児に特化した項目を掲載できないか。

答 地域子育て部長 令和6年度に医療
的ケア児等の支援についてまとめたHPを
作成し、情報を探しやすとした。子育て
ナビゲーションへの掲載は検討する。

インフルエンザ予防接種
公明党 鈴木 いくお

質問 千円で接種できる65歳以上の高
齢者の接種率について伺う。

答 健康部長 令和6年度は58・8%。

質問 子どもへの予防接種公費助成は
物価高や重症化予防の観点からも要望の
多い案件である。実施すべきではないか。

答 健康部長 死亡または重症化率は全
年齢より下回っており、蔓延予防効果も
期待できないため、考えていない。

質問 せめて人生を左右する中学3年
の受験生に対して実施すべきではないか。

答 健康部長 現時点で考えていない。

健康寿命日本一をめざして
清風会 島田 たいぞう

質問 がん予防の重点施策である喫煙
対策、減塩や野菜摂取等食生活対策は。

答 健康部長 喫煙の影響を小中学校の
授業や成人式等で若い世代へ啓発して
おり、食生活は保健センターで行う栄養相
談、イベント等で啓発している。

質問 がん等疾病の原因は食事での動物
性タンパク質・脂肪・砂糖等の摂取増加、
食物繊維の減少、ビタミン・ミネラル不
足と言われている。市民への対策は。

答 健康部長 バランスの良い食事につ
いて、関係機関と連携し施策を推進する。

猛暑での保育所の遊び場確保
清風会 鈴木 和美

質問 園庭を持たない保育所等では近隣
の公園を活用しているが、猛暑日には利
用できない。立地条件により短時間の日
陰利用等の工夫が難しい園への対応は。

答 地域子育て部長 工夫が難しい園に
おいてどのような対応ができるか、他の
自治体の状況等を研究していく。

質問 猛暑に特化した暑さ対策設備に
ついて、導入支援の考えはあるか。

答 地域子育て部長 幅広く施設の管理
運営費に充てることができる補助金を市
独自に支給している。補助金の活用状況
を分析するなど必要な支援の在り方を検

討していきたい。

地域の子育て支援
日本共産党 神子 そよ子

質問 市内で児童ホームが未設置の地
区があるが、検討状況は。

答 地域子育て部長 子どもの居場所に
ついて関係部署と協議し検討している。

質問 埋蔵文化財調査事務所移転後に
残る建物を子どもの居場所に活用すべき。

答 企画財政部長 どのような活用をし
ていくか関係部署と協議している。

シングル女性への支援
日本共産党 松崎 さち

質問 中高年のシングル女性の雇用や
収入が大変厳しい。実態に合った支援を。

答 こども家庭部長 女性相談室にお
いて関係機関と連携し支援をしている。

困窮する市民への食糧支援
日本共産党 岩井 友子

質問 他市の炊き出し実施のように、困
窮する大人への食糧支援をすべきでは。

答 福祉サービス部長 幅広い支援展開
のため官民で支援の推進を図っていく。

環境
香害に対する環境への取り組み
市民民主連合 池沢 みちよ

質問 環境フェアで当事者支援すべき。

答 環境部長 団体による掲示等は可能。

ごみ収集減量への取り組み
結 市川 たけし

質問 ここ数年で家庭ごみの排出量は
減っているが、分別が行われず出されて
いる物も目につく。もっと分かりやすく
分別方法等の周知を図るべきではないか。

答 環境部長 以前は市ホームページや
広報ふなばし、家庭ごみの出し方の案内
等により周知啓発を行っていたが、より
具体的に分かりやすい情報提供を目的に、
ごみ減量啓発紙や分別ガイドを新たに発
行し周知啓発に努めている。またイラス
トや写真での案内、小中学校への出前授
業の拡充、民間事業者と連携したごみ減
量と資源化の取り組みも行っている。

質問 市指定の不燃ごみ袋は20リット
ルとなっているが、近隣市では30リット
ルの袋を採用している市もある。大きい
ごみ袋の方が使い勝手が良いのでは。

答 環境部長 本市は粗大ごみを「家庭
から排出される概ね20リットル以上の大
きさの固形物および金属の塊で規則で定
めるもの」と規定しているため、20リッ
トルのごみ袋を採用している。今後も市
民の要望の把握に努め調査研究していく。

ごみ問題
結 林 としり

質問 これまで直営で行ってきた回収
集地区のごみ収集運搬業務について、今
年度から一部委託が始まったが、今後は
どのような方針で進めていくのか。

答 環境部長 今後については、災害発
生時のごみ収集運搬体制の確保等家庭ご
みの安定的な収集運搬体制の維持に向け、

関係部局と協議していく。

質問 収集時間の短縮に向け、ごみ収集運搬業務の効率化が必要と考えるが本市の見解を伺う。

答 環境部長 受託業者との意見交換や情報共有を図り、ごみ収集運搬業務の効率化に向け、調査研究していく。

特定外来生物等の防除
結 藤代 清七郎

質問 防除対策として、生態調査や電気柵設置への補助等は考えられないか。

答 環境部長 アライグマは、市全域に分布が拡大していることから、箱わなの積極的な設置について検討したい。

答 経済部長 生産者や農協からの情報収集や被害状況の把握に努め、電気柵の補助等の有害鳥獣対策を検討したい。

経済・産業

有機農業の取組み
市民民主連合 池沢 みちよ

質問 農家の声を受け市が主導すべき。

答 経済部長 有機農業先進地への視察等希望に応じた取組みを後押ししたい。

まちづくり

自転車都市宣言
清風会 島田 たいぞう

質問 渋滞対策、CO₂削減、健康増進、災害時の交通手段として整備の促進を。

答 柳生副市長 関係部局の施策の充実、連携の強化を促していく。



市内に整備された自転車走行環境

危険コンクリートブロック塀
結 林 としのり

質問 危険コンクリートブロック塀等撤去助成事業について、事業を知ったきっかけ等を伺うアンケートをとり事業を効率良く広げるための調査をすべきでは。

答 建築部長 助成を受けた方にアンケートを実施して状況を把握し、周知方法を研究していく。

アンデルセン公園の暑さ対策
結 小平 奈緒

質問 アンデルセン公園はフィールドアスレチックや芝生広場など屋外での遊び場が多いが、暑さ対策はどのようなものを行っているのか。

のを行っているのか。

答 都市整備部長 熱中症予防啓発ボスターの掲示、暑熱避難施設の指定とその案内の掲示、ミストファンやスポットクーラーの設置、万が一に備え入園ゲートに経口補水液の配備などを行った。

駐輪場への屋根設置の必要性
日本共産党 神子 そよ子

質問 駐輪場に屋根がないことで、炎天下に電動自転車のバッテリーが高温になり発火する危険性がある。市の見解は。

答 都市整備部長 情報収集に努めたい。

貧困世帯に住まいの支援を
日本共産党 松崎 さち

質問 家賃補助制度を検討すべきでは。

答 建築部長 住宅セーフティネット家賃低廉化事業が同等の制度と考える。

質問 市営住宅への若年単身者の入居を認めている自治体もある。市の見解は。

答 建築部長 高齢者や障害のある方等一部の方は単身世帯の申込みを既に受け付けており、要件の緩和は考えていない。

新湾岸道路の建設
日本共産党 金沢 和子

質問 市域へのインターチェンジ設置案は市から要望をしたのか。

答 都市計画部長 防災面等を考慮し、国で案を作成したものと考えている。

質問 完成時期が未定の道路に防災機能は期待できない。現在実施している国道の渋滞解消事業の効果を含めてシミュレーションしているのか。

答 都市計画部長 国の方でシミュレーションは行っていない。

小栗原架道橋の進捗状況
飛翔 佐藤 つぐみ

質問 水面下での進捗も含め、隣接している町会以外にも情報発信できないか。

答 道路部長 今後は取組状況が伝わる内容に市ホームページを更新していく。

自転車等駐車場改修時の利用
市民民主連合 池沢 みちよ

質問 定期利用の台数を増やすべき。

答 都市整備部長 次年度の募集時には利用者へわかりやすく適切な案内を行う。

倒木に伴う樹木の安全管理
市民民主連合 川井 洋基

質問 学校等公共施設の樹木の日常的な点検状況並びに補植や対応方針を伺う。

答 管理部長 日常的な点検は各学校で実施し、状況に応じて施設課で修繕等を行っている。伐採後は、学校と協議しながら、植樹も検討していく。

答 生涯学習部長 各施設管理者により、樹木の維持管理について注意喚起をしている。定期点検の必要性は重々承知しており、他市の状況を確認するとともに、専門家による定期的な樹木診断も踏まえ、適正な維持管理に努めていく。

公園での手持ち花火
市民民主連合 神田 廣栄

質問 公園での花火の使用について、本市ではどのような対応をしているか。

答 都市整備部長 町会自治会が実施す

る場合は内容等を確認の上で一部使用を認めているが、個人の場合は近隣住民等からの要望があることから禁止している。

都市計画道路3・4・27号線

質問 事業用地の取得に伴い前払金を支払った物件の立ち退きはいつ頃か。

答 道路部長 契約における土地引渡し期限は令和8年11月30日となっている。

道路行政の課題

公明党 松壽 裕次

質問 令和3年度まで行われた「人にやさしい歩道整備計画」の最終的な評価と計画終了後の事業の継承について伺う。

答 道路部長 7年間の歩道整備指標の約22.8kmに対し、25.2kmの整備ができた。令和4年度からは地域からの要望を踏まえ計画に準じた整備をしている。

質問 習志野市道である通称マラソン道路の、船橋市域の歩道劣化が著しい。習志野市と整備に向けた協議を求める。

答 道路部長 今後、修繕のあり方について習志野市と協議していく。

教育・文化

朝の小1の壁

公明党 草場 智泉

質問 小1の壁解消に向けた、朝の見守り事業の検討状況を伺う。

答 管理部長 低学年で利用希望の割合が高い。始業前に安心して過ごせる居場

所を提供できるよう具体的な検討をする。

全国学力・学習状況調査

清風会 島田 たいぞう

質問 学力結果を踏まえた改善策は。

答 学校教育部長 国語力向上に努める。

質問 スマホ使用時間縮小への対策は。

答 学校教育部長 児童生徒への情報教育や保護者会等で家庭での協力を求める。

学校の水泳授業の安定的確保

清風会 鈴木 和美

質問 老朽化でプールを使用できない学校数と、修繕を要する学校数は。

答 管理部長 老朽化によりプールが使用できない小学校は9校、中学校は5校であり、修繕はほぼ全ての小中学校で実施している。

質問 体力や技能の習得に加え、水に親しみ、自らの力を試す機会を子供たちに確保することは市の責務である。拠点型屋内温水プール整備の検討状況を伺う。

答 管理部長 複数の学校が共同利用する拠点プールとして運用面の実現性や継続性を精査しており、具体的な整備場所の選定を引き続き行っている。

教育行政

結 藤代 清七郎

質問 デジタル教育について、アナログとデジタルのメリットとデメリットを慎重に検証していくべきだが見解は。

答 学校教育部長 双方の良いところを効果的に取り入れた学習活動になるよう各学校への指導助言に努めていく。

質問 泳力低下について、公私協働による持続可能なプール教育モデルが求められていると思うがいかがか。

答 学校教育部長 小学校では実技を含めた水泳学習ができるよう、自校プールや共同利用、民間委託、複数校が共同利用する拠点プールも視野に計画したい。



1971年に建てられた学校プール

学校給食費の無償化

日本共産党 金沢 和子

質問 本市独自に無償化を進めては。

答 学校教育部長 国に倣って実施予定。

修学旅行費の保護者負担

無所属 はまの 太郎

質問 物価高騰による影響は。

答 学校教育部長 全体として増加しているが、要因については現状各校ごとの

状況を把握出来ていないため、今後確認する。また、他市の取組も調査する。

障がいのある方の文化活動

質問 推進計画策定についての考えは。

答 生涯学習部長 今後策定する第3次船橋市文化振興基本方針に文化芸術活動推進に係る計画を含める方向で検討する。

船橋史を学び市制百年準備を

無所属 朝倉 幹晴

質問 船橋市は深く各地に歴史がある。各所の貝塚、小室の前方後円墳、平安時代の意富比神社(船橋大神宮)、葛飾郡栗原、二宮神社、御滝不動尊、家康の鷹狩御殿の東照宮と馬牧、新田開発(前原、藤原、上山、行田、滝台、丸山、神保)、幕末の戊辰戦争、二和・三咲開墾、行田無線塔など私はYouTubeで解説・発信しているが、市も百年史準備を。

答 生涯学習部長 市制施行百周年に向け、市史編纂のため準備を進めている。

民間フリースクールへの補助

市民民主連合 斉藤 誠

質問 国等への調査研究を踏まえ動き出す必要があると考えるが、見解を伺う。

答 学校教育部長 国や県の動向や、フリースクールとの情報交換会での意見を参考に、さらに調査研究を進めていく。



議会見学会を開催しました！

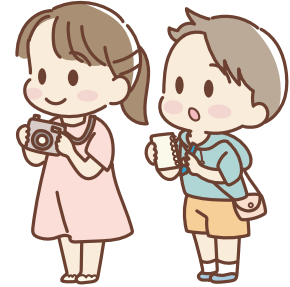
議会の役割や仕組みを理解してもらうことを目的に、令和7年8月19日（火）および20日（水）に小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会を実施しました。

今回は、過去最多の**178名の児童・生徒の皆さんにご参加**をいただきました！

当日の様子

市議会の仕組みのご紹介

広報委員会を担当する議員から、市議会の仕組みや役割、市議会と市長の関係や会議の様子などの説明を受けました。



市議会の施設見学

本会議場や議長室など、普段なかなか入ることができない市議会の施設を見学しました。



傍聴席



議長室

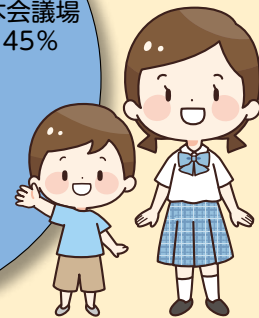
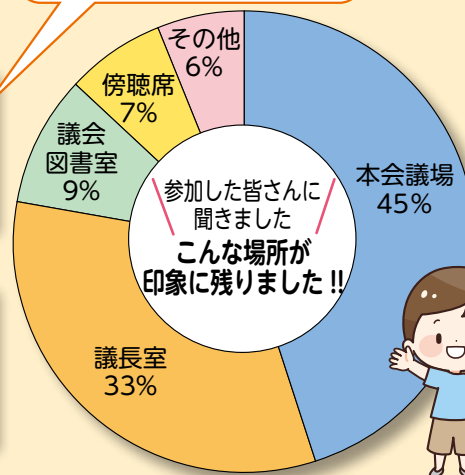


議会図書室



本会議場

議長室では
議長とお話をする場面も！



議員とのお話し会・意見交換会

議員や議会のこと、普段の生活で気になっていることなど、直接議員とお話をしました。



参加者の感想

- 議長室で椅子に座れたり、議長と話ができて良かった。なかなか行けない場所に行けて良かった。(小3)
- すごい大変な仕事だと思いました。議員の人は重大な責任があるなと改めて感じました。(小4)
- よい経験ができた。市役所や議会など知らないことを知るチャンスがたくさんほしいと思った。(小5)
- 市議会について色々なことが知れたし、もっと知りたいと思った。とても楽しかった。また来年も行きたいと思った。(中1)
- 自分の住む街の運営のされ方を理解することで選挙に行こうという気がより強くなった。(高2)
- 実際に市議会の本会議場を見学できたり、市議会議員の方とお話しできたり、子どもも楽しめるような工夫が感じられて、良い学習機会になりました。また、大人の私も、子どもと一緒に学ぶことができてとても有意義な機会となりました。(保護者)

◎令和7年第4回定例会は、11月13日から12月18日まで開会の予定です。

詳しい日程は、下記へお問い合わせください。また、右下のコードを読み取ることで日程を確認できます。「ふなばし市議会だより」に対するご意見・ご感想もお待ちしております。

<お問い合わせ> 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 船橋市議会事務局
電話 047-436-3014 FAX 047-436-3013
Eメール gikai-chosa@city.funabashi.lg.jp

